

令和3年度 認定こども園足久保こども園 学校関係者評価

自己評価 令和3年11月実施

職員が評価シートをもとに、自らを振り返りながら自己評価を行った。

学校評価 保護者アンケート 令和4年1月実施

アンケート用紙を作成し、全園児保護者を対象にアンケートを実施した。

学校関係者評価 令和3年9月16日 開催 (小学校長・保護者会長・地区社協会長)

(選出した評価委員3名の方に公開保育に来ていただき、その後、園長・主幹保育教諭を交えての協議会を実施)

令和4年1月20日 開催

(自己評価をもとに議論・1年間の振り返り)

令和4年1月21日～令和4年2月24日 評価委員による評価と意見提出期間

※コロナ感染対策の為、議論後、評価委員による達成結果のまとめは、個々の評価とした。

1. 足久保こども園の教育・保育目標

「人としてかかわる力を育てる」

- ・明るく元気な子・思いやりのある子・あいさつができる子
- ・話が聞ける子・自分を表現できる子

2. 園の教育・保育の具体的な基本目標

- (1) 活動体験を十分に積み重ねる。
- (2) 養護による自己発揮を考慮し、乳幼児期にふさわしい生活の展開をしていく。
- (3) 遊びを通じた指導を中心として5領域のねらいを達成する。
- (4) 園児一人一人の課題に即した指導を行う。

3. 学校関係者評価項目の取り組み・達成結果の自己評価

① 小学校長 ②保護者会長 ③地区社協会長

	評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
		評価	反省・改善点	評価	意見
1	保育の計画性	B	年度当初の教育課程をもとに計画通り保育することができた。今後の課題としては教育課程を職員で学び合いたい。	①B ②B ③B	① 保育方針に沿って計画を立て、計画的に保育を行っている。 ② 年間指導計画や月間指導計画はとても細かい部分まで書かれており、子ども達の成長をあらゆる観点から見守ってくれていると感じた。 ③ コロナ禍に於いて、各乳・幼児の年齢層に応じて創意・工夫された実践活動が見られる。

2	保育の在り方 幼児・乳児の対応	B	主任を中心に連携を強化し、個別に適切な対応ができた。職員間の連携を取り、園全体で情報交換を行っていききたい。	①B ②B ③A	<p>① 各クラスで職員の連携が取れている。園全体での情報交換・情報共有の工夫を今後考えていってほしい。</p> <p>② 保護者アンケートの意見にも多くあるように子ども達の成長をあらゆる観点から見守ってくれていると感じた。</p> <p>③ 乳・幼児の安全・安心を踏まえ、子どもらの発育に応じた取り組みが見られる。</p>
3	教諭としての 資質・能力 良識・適正	B	感染症対策を行いながら保育技術向上のための必要研修にZoomを活用しながら積極的に参加した。園内研修では日頃の保育の振り返りや、特に保育環境について学び合う機会を多く設け資質向上に努めた。	①B ②B ③B	<p>① コロナ禍の中でも工夫して研修を行い、資質向上に努めている。</p> <p>② 様々な勤務形態があり、また毎日忙しくまとまった時間がとりにくい中、保育技術向上、資質向上の為に時間を費やしていることは親としても、とても安心できることだと思う。</p> <p>③ コロナ禍の困難な条件の下で、最新の機材等を活用し教諭としての資質等向上に努めている。</p>
4	保護者への対応	B	保育参加や保護者懇談会、行事等を通し保護者に園のことを理解してもらう計画は立てていたが、感染症対策の為、実施は制限が必要になった。そのため、ホームページやICTで情報を公開して、園での子どもたちの様子を伝えた。	①A ②B ③A	<p>① 保護者の意向を踏まえながら丁寧に対応している</p> <p>② 保護者が実際に子ども達と園で接する機会がほとんどなくなってしまっている現状は残念だが、動画配信は何度も見返すこともできとても良いと思う。また、降園時子どものほほえましいエピソードを先生から教えてもらえることはうれしいし、安心できる。</p> <p>③ HP・LINE・メール等を活用し、子どもに応じた情報を保護者と共有している</p>
5	地域の自然や 社会との関わり	B	地域の地理や自然に親しむことはできたがS型サロンや里まつり、敬老会等、地域との交流はほとんどできなかった。地域との連携を今後の課題にしたい。	①B ②B ③A	<p>① 計画したことが出来ない状況だったと思う。コロナが治ったら地域・学校と連携してほしい。</p> <p>② コロナ感染の心配がなければ、地域の行事への参加や交流が多く持っていたと思うので、これからも、今まで通りの行事などはなくさないで行ってほしいと思う。</p> <p>③ 地域の自然環境に触れる機会を積極的に取り入れ、又、地域の諸団体との交流を深める工夫をしている。</p>

6	研修と研究	A	<p>外部講師による研修を行い研修。又、園内研修では意見交換の時間を多くとり、乳幼児の教育・保育の研究に努めた。外部の研修に積極的に参加し研鑽に励みたい。</p>	<p>①A ②A ③B</p>	<p>① コロナ禍でも対策を取りながらできる研修を進めており、素晴らしいと思う。</p> <p>② 研修計画書の研修以外にも参加しているという話を聞き、数の多さに驚いた。そして研修内容を保育者の中で共有しているというのはとても素晴らしいと思う。</p> <p>③ コロナ禍により、外部研修は制限され、内外の各種研修も困難な中、園内での教員間の研修・研鑽に努めている。</p>
---	-------	---	---	-------------------------	---

A 十分達成されている

B 達成されている

C 取り組まれているが達成されていない

D 取り組みが不十分である